

- 問1 鎌倉時代の1232年、第3代執権の北条泰時が制定した、武士の慣習や裁判の基準をまとめたわが国最初の武家独自の法典を選びなさい。 (2024年 香川県公立入試 類似)

1. 御成敗式目

2. 徳政令

3. 十七条の憲法

4. 建武の新政
- 問2 鎌倉時代の将軍と御家人の関係において、将軍が御家人に対して行う「御恩」の具体的な内容として、御家人が先祖から受け継いできた土地の支配権を将軍が保証することを何といいますか。 (2018年 高知県公立入試 類似)

1. いざ鎌倉

2. 本領安堵

3. 新恩給与

4. 京都大番役
- 問3 平安時代中期から鎌倉時代にかけての政治の変遷について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)

1. 平清盛は、武士として初めて幕府の執権という役職に就き、政治の実権を握って日宋貿易を推進した。

2. 藤原頼通は、武士の慣習をまとめた御成敗式目を制定し、地頭と荘園領主の争いを裁く基準を明確にした。

3. 藤原頼通は、父の道長とともに摂政・関白として権勢をふるい、京都の宇治に平等院鳳凰堂を建立した。

4. 北条泰時は、天皇を中心とする政治を取り戻すために挙兵した平氏を倒し、源頼朝を助けて鎌倉幕府を開いた。
- 問4 鎌倉時代の武士は、日頃から「犬追物（いぬおうもの）」や「流鏑馬（やぶさめ）」といった武芸の鍛錬に熱心に励んでいました。武士がこれほどまでに厳しい鍛錬を日常的に行った動機として、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)

1. 禅宗の教えを広めるための精神修行として、殺生を伴わない競技を形式化するため

2. 倭寇（わこう）などの海賊集団による略奪を取り締まり、東アジアの海上交易を安定させるため

3. 戦で手柄を立てて新たな恩賞を得ることや、先祖から引き継いできた領地を死守するため

4. 朝廷が定めた律令制度に基づき、地方官吏として農民から正確に税を徴収するため
- 問5 鎌倉幕府が守護と地頭を設置した歴史的な背景と、その後の社会に与えた影響に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)

1. 守護や地頭の設置により、平安時代から続く荘園公領制の中に幕府の支配力が入り込むことになった

2. 源頼朝は全国の土地の質や面積を調べる検地を行うために、守護と地頭の制度を創設した

3. 江戸時代のように藩が確立されるまでの間、地頭は天皇から直接領地を安堵される立場として機能した

4. 守護と地頭の役割は、すべての家や寺社の権利を完全に奪い、土地をすべて武士の私有地にするためのものであった
- 問6 鎌倉幕府が国ごとに設置し、謀反や殺人などの犯罪人を取り締まる警察・軍事的な職務を担った役職は何ですか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)

1. 守護

2. 管領

3. 老中

4. 摂政
- 問7 奈良時代の仏教から鎌倉時代の仏教への変遷と僧侶の活動について、その目的や背景を説明した文として正しいものを選択してください。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)

1. 国家の保護を受けて戒律を整えた鑑真らの活動に対し、鎌倉時代の道元は個人の修行として座禅による救いを説いた。

2. 行基が国家の許可なく民衆に布教したことは、のちの鎌倉時代に道元が戒律を厳格化する直接のきっかけとなった。

3. 道元が奈良時代に禅の教えを確立させたことで、平安時代以降の鑑真や行基による民衆救済の活動が活発になった。

4. 鑑真が伝えた戒律は武士の間で流行したが、鎌倉時代に入ると行基の影響を受けた道元が念仏を唱えることを重視した。
- 問8 鎌倉幕府において、源頼朝の死後に北条氏が代々就任し、将軍に代わって幕府の政治を統括し実権を握った役職を何といいますか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)

1. 管領

2. 執権

3. 地頭

4. 老中
- 問9 元寇の際、博多湾に防塁を築くなどの防衛策を指揮した人物と、その拠点となった場所の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 北条時宗 - 博多湾の沿岸

2. 北条泰時 - 相模湾の沿岸

3. 源頼朝 - 志摩半島の沿岸

4. 足利尊氏 - 瀬戸内海の沿岸
- 問10 東大寺南大門に安置されている、運慶や快慶らによって制作された彫刻作品について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)

1. 貴族の権威を象徴するために金箔をふんだんに使用した、装飾性の高い菩薩像

2. 筋骨隆々とした肉体美や激しい動きを表現した、写実的で力強い金剛力士像

3. 禅宗の教えに基づき、精神的な静寂を表現するために彫られた簡素な木像

4. 極楽浄土の様子を視覚化するために制作された、優雅で穏やかな表情の阿弥陀如来像
- 問11 1221年に起こった承久の乱の後、鎌倉幕府が朝廷の動きを監視し、西日本の武士を統率するために京都に設置した機関として正しい名称を選びなさい。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)

1. 大宰府

2. 評定衆

3. 問注所

4. 六波羅探題
- 問12 鎌倉時代の武士社会において、将軍と御家人の結びつきを支えた「御恩」の内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)

1. 将軍が御家人に対し、領地の所有権を認めたり新たな土地を与えたりすること

2. 御家人が将軍に対して、京都や鎌倉の警護を行うこと

3. 将軍が御家人に対し、年貢の徴収や警察権を全国規模で代行させること

4. 御家人が将軍に対して、戦時に命をかけて軍役を果たすこと
- 問13 日本の歴史を時系列で整理した際、平安時代の終わりにあたる12世紀末から、室町時代が始まる前の14世紀前半までにあたる、日本初の本格的な武家政権が成立していた時代を何と呼ぶか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)

1. 室町時代

2. 江戸時代

3. 奈良時代

4. 鎌倉時代
- 問14 鎌倉時代の政治体制において、「執権」という役職が果たした役割の説明として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2018年 茨城県公立入試 類似)

1. 江戸幕府において将軍の直属として、臨時に最高職に就き国政を左右した。

2. 室町幕府において将軍を補佐し、足利一族の有力者が就任して政治を支えた。

3. 地方の軍事や警察の役割を担い、幕府から各国に派遣された役職である。

4. 将軍に代わって幕府の政治の実権を握り、北条氏が世襲して政務を統括した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 御成敗式目	第3代執権の北条泰時は、武家社会に伝わる慣習や道徳（道理）をもとに、裁判を公平に行うための基準を全51箇条にまとめました。これは制定された年の元号から「貞永式目」とも呼ばれます。これ以降、この法典は後世の武家法の規範となりました。
問2	答え 2 本領安堵	将軍による御恩は大きく2つに分けられます。もともと持っていた土地の権利を認める「本領安堵」と、手柄を立てた際に新しい土地を与える「新恩給与」です。武士にとって土地は生活の基盤であり、一族の命運を左右するものだったため、幕府はこれを保証することで武士たちの支持を集めました。
問3	答え 3 藤原頼通は、父の道長とともに摂政・関白として権勢をふるい、京都の宇治に平等院鳳凰堂を建立した。	藤原道長・頼通の親子は、娘を天皇のきさきにすることで天皇との親戚関係を築き、摂政や関白として政治の実権を握る摂関政治の最盛期を築きました。頼通が建立した平等院鳳凰堂は、当時の貴族の間に広まった浄土信仰（極楽往生を願う信仰）の影響を強く受けています。平清盛は武士として初めて太政大臣に就任しましたが、執権は鎌倉幕府の役職です。また、御成敗式目を制定したのは鎌倉幕府の第3代執権である北条泰時です。
問4	答え 3 戦で手柄を立てて新たな恩賞を得ることや、先祖から引き継いできた領地を死守するため	武士にとって土地は生活の基盤であり、命をかけて守るべき対象（一所懸命）でした。戦時に目覚ましい働きをすることで、将軍から領地の所有権を保証（本領安堵）されたり、新たな領地を分け与えられたりすることが、武士としての繁栄に直結していたため、日々の武芸の鍛錬が不可欠でした。なお、倭寇の取り締まりなどは武士の主な鍛錬の目的ではありません。
問5	答え 1 守護や地頭の設置により、平安時代から続く荘園公領制の中に幕府の支配力が入り込むことになった	鎌倉時代初期、日本の土地の多くは依然として貴族や寺社が所有する「荘園」や、国司が管理する「公領」という形で存在していました。頼朝がそこに武士（御家人）を地頭として送り込んだことは、既存の支配体系の中に武家政権の影響力を浸透させる大きな転換点となりました。なお、検地は主に豊臣秀吉の時代、藩は江戸時代の仕組みであり、これらは鎌倉時代の状況とは異なります。
問6	答え 1 守護	鎌倉幕府によって国ごとに設置され、謀反人や殺人犯の逮捕など警察・軍事的な職務を担当した役職は守護です。管領は室町時代の幕府の役職、老中は江戸時代の役職、摂政は飛鳥時代や平安時代などに天皇を補佐した役職です。
問7	答え 1 国家の保護を受けて戒律を整えた鑑真らの活動に対し、鎌倉時代の道元は個人の修行として座禅による救いを説いた。	奈良時代の仏教は「鎮護国家」の思想のもと、国家の平安を祈る性質が強く、鑑真による戒律の導入も、僧侶の質を維持し国家的な宗教制度を整える目的がありました。一方、鎌倉時代になると、不安な社会情勢の中で個人がどのように救われるかが重視されるようになり、道元は中国から伝えた禅（曹洞宗）によって、ひたすら座禅を組むという個人の修行のあり方を提示しました。行基は奈良時代に民衆への布教で活躍しましたが、道元とは活動した時代も目的も異なります。
問8	答え 2 執権	源頼朝の死後、妻の北条政子の実家である北条氏が台頭しました。北条氏は将軍の補佐役であった「執権」の職を世襲し、政治の実権を握る「執権政治」を確立しました。管領は室町時代、老中は江戸時代の役職であるため混同に注意が必要です。
問9	答え 1 北条時宗 – 博多湾の沿岸	モンゴル軍の襲来に対し、鎌倉幕府の8代執権である北条時宗は、九州に所領を持つ御家人だけでなく、本来は幕府の支配下になかった公家領の底本（非御家人）に対しても異国警固番役を課すなどして、博多湾の防衛体制を強化しました。幕府はその後も三度目の襲来を警戒し、防壁の修復や警備を継続しました。
問10	答え 2 筋骨隆々とした肉体美や激しい動きを表現した、写实的で力強い金剛力士像	鎌倉時代の彫刻は、平安時代後期の優美な様式とは対照的に、写实的で力強い表現が主流となりました。運慶・快慶らの慶派が制作した金剛力士像は、浮き出た血管や筋肉の躍動感が克明に表現されており、武士が政治の実権を握った時代の活力を象徴しています。
問11	答え 4 六波羅探題	承久の乱で後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうと兵を挙げたことを受け、幕府は朝廷の監視を強化する必要があると判断しました。そこで、京都の六波羅に拠点を置き、朝廷の動きを常に警戒するとともに、それまで幕府の支配が十分でなかった西日本の武士たちを統率する役割を担うこの機関を設置しました。
問12	答え 1 将軍が御家人に対し、領地の所有権を認めたり新たな土地を与えたりすること	鎌倉時代の主従関係は「土地」を仲立ちにしていました。将軍から御家人への働きかけが「御恩」、御家人から将軍への奉仕が「奉公」です。警護や軍役は「奉公」の内容にあたります。御恩の根幹は、武士にとって最も重要な財産である「領地」を将軍が保証することにありました。なお、全国に置かれた地頭や守護の職に任命することも御恩に含まれますが、選択肢にある「警察権を全国規模で代行させる」のは役職としての守護の職務説明に近いものです。
問13	答え 4 鎌倉時代	平安時代（1000年頃）と室町時代（1400年頃）の間に位置する時代区分です。1200年前後から14世紀前半まで続き、源頼朝が幕府を開いたことで武士による政治が確立されました。前後の時代のつながりを把握することが、日本の時代区分を理解する上で重要です。
問14	答え 4 将軍に代わって幕府の政治の実権を握り、北条氏が世襲して政務を統括した。	鎌倉幕府では源氏の将軍が3代で途絶えた後、北条政子の実家である北条氏が政治の中心となりました。北条氏は自ら将軍になるのではなく、将軍を名目上の存在とし、自らは執権として幕政を動かす「執権政治」を行いました。なお、選択肢にある「管領」は室町幕府、「大老」は江戸幕府、「守護」は地方行政の役職であり、執権とは役割や時代が異なります。